

ぐるめ散歩

……カレー・アジア料理……

チャンダニ

本場の味を生かしながら日本人の舌に合わせたスパイシーなインド・ネパール風のカレーが味わえる専門店。

カレーは具材や香辛料の違いによって刺激的なものからマイルドなものまで約30種ものバリエーションがあり、バターチキン、海老とほうれん草、8種の豆入りのバターダルカレーが人気。辛さも甘口から激辛まで5段階あり、好みで注文できる（激辛は200円増し）。

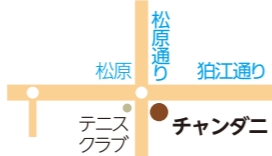


カンデルさん夫妻

カレーのほかに、タンドリーチキンやティッカなどの鶏料理、ナンの種類も多い。

また、トムヤムクン、パッタイ（焼きビーフン）、フォー、生春巻

☎3480-7869 中和泉
1-15-14 1階 営業=午
前11時~午後3時/5時
~11時、火曜休み



日本人に合わせた約30種のカレー アジア料理などメニュー約150種



は、タマネギなど国内産野菜を使い、インドやネパールなどから取り寄せた様々な香辛料、バターや生クリームを入れ、水を加えず数時間かけて煮込んで作る。

カレーのほか、タンドリーチキンやティッカなどの鶏料理、ナンの種類も多い。

また、トムヤムクン、パッタイ（焼きビーフン）、フォー、生春巻

きといったタイなどのアジア料理も提供しており、メニューは約150種にもものぼる。

同店は、ネパール出身のカンデル・ジャペンドラさん（43）と妻のカンデル・ルパさん（35）の2人で切り盛りしている。シェフのジャペンドラさんは出身地のネパールを皮切りにインド、サウジアラビアなどで料理人として働いた後、平成19年に来日、名古屋、世田谷などで働き、21年に現在の店を開いた。

店が狭いため持ち帰りや配達を中心で、事前に予約すると良い。

おすすめMENU

- ①バターチキンカレー (M) ¥950 / ②海老とほうれん草のカレー (L) ¥1450
- ③バターダルカレー (M) ¥900 / ④チーズナン ¥950 / ⑤タンドリーチキン2個 ¥475 / ⑥ナン ¥320 (税込み)

ひろがれ 絵手紙の輪

絵手紙七夕に願い託すー市役所ロビーに展示

様々な願いを絵手紙の短冊に託した七夕飾りが6月26日頃から7月7日盂まで市役所2階ロビーに展示され、訪れた人たちは夏の風物詩に足を止めて見入っていた。

6月29日日にはロビーで絵手紙ひろばが催され、参加した19人が「絵手紙発祥の地ー狛江」実行委員会委員から絵手紙の基本的な書き方などの手ほどきを受けながら、短冊にそれぞれの思いを込めて絵や文字をかけた後、長さ約1mから約3mの笹に飾った。

使われた笹は、狛江市文化振興事業団評議員の飯田美郎さんから



絵手紙ひろばと七夕飾り

中和泉の自宅に生えていたものを提供された。笹には、実行委員会委員などの短冊もつるされ、約300枚が初夏の訪れを告げていた。

短冊にはスイカやトマト、夏の花などの絵に加え、「笑顔で暮らせませすように」「ウクライナの子供達に愛と平和を」「絵手紙が上手になりたい」など様々な願いがかかれていた。

絵手紙ひろばは、絵手紙発祥の地である狛江の愛好者を広げようと、主に初心者を対象に開かれている。この日初めて参加したという人も多く、「気軽に参加できて、楽しかった。これを機会に始めたい」などと話していた。

狛江市文化振興事業団では9月29日盂に四季の杜おしの公園小池邦夫絵手紙美術館（山梨県忍野村）などを訪れる日帰りバスツアーの参加者を募集している。

問い合わせ ☎3430-4106（午前9時~午後7時、火曜日休館）一般財団法人狛江市文化振興事業団。

狛江古代カップ 多摩川いかだレース 86チームが川下り



川を下る手作りいかだ。右奥のクジラが最優秀企画賞の南生田中学校美術部&南生田パパロール隊コラボチーム

「狛江古代カップ第31回多摩川いかだレース」（同実行委員会主催）が7月16日回に催され、猛暑の中、86チームの手作りいかだがスピードやデザインを競った。

いかだは12レースに分かれ、五本松付近から二ヶ領宿河原堰付近まで約1.3kmを下った。今年は水量が例年より少ないのに加え、大雨で流れや中州の位置が変わったため、各チームとも思うように進めず、浅瀬に乗り上げていかだを押すなど苦勞する光景が見られた。見物する人たちも強烈な日射しが照りつけるなか、懸命に声援を送っていた。

レースは4チームが制限時間の1時間以内にゴールできず、タイムオーバーとなった。

結果は、企画部門で南生田中学校美術部&南生田パパロール隊コラボチームが3年連続で最優秀企画賞を獲得、タイムレース部門ではハートフルおやじファミリー号が2位の狛江六小おやじに1分45秒の大差をつけ10分21秒で優勝した。学生の部は弾丸ズ!!、レディース・ジュニアの部は狛江三小おやじの会ジュニアが優勝した。市内の小・中学校の対抗レースは狛江二中∞インフィニティが優勝した。

8連覇を果たしたハートフルおや



ハートフルおやじファミリー号

じファミリー号のメンバーは「流れが変わり、水量も少なかったので苦勞しました」と話していた。

9月3日に平和フェスタ オリジナル曲など内容充実

「こまえ平和フェスタ2023」（こまえ平和フェスタ実行委員会主催、狛江市・狛江市教育委員会など後援）が9月3日午後1時30分~4時（開場は午後0時30分）にエコルマホールで開催される。

同フェスタは平成17年から毎年夏に開かれてきた。令和2年からコロナ禍で中止やオンライン開催を余儀なくされ、4年ぶりに本格的な開催ができることになり、内容の充実を図ったという。

今回、こまえ平和フェスタ合唱団が披露するオリジナル合唱曲「虹をつなぐ」の詩は、世田谷区立砧中学校の卒業生が在校生へのメッセージとして書いたもの。同合唱団に入っている同校教師から「歌になるのでは」と相談された同フェスタ実行委員長の大熊啓さんが作曲し、6月11日回にエコルマホールで催された「初夏の音楽会」で初演された。同合唱団では本番に向けて練習に励むとともに、団員の募集も行っている。

狛江駅前にあった狛江国民学校（現・狛江第一小学校の前身）が昭和20年5月の空襲で焼失したことを取り上げた紙芝居を基にした朗読劇「戦争と狛江の子ども達」を初めて上演する。原水爆禁止日本協議会理事の前川史朗さんが「子どもたちの未来に核兵器のない世界を」と題し、核兵器禁止条約と草の根運動の大切さ、ロシア

のウクライナ侵攻などについて子どもにもわかりやすく講演する。

当日、会場には砧中の昨年度卒業生の作品、広島の高中生や実行委員が描いた原爆をテーマにした絵画、実物の焼夷弾などを展示する。また、8月16日回~31日回に中央公民館、9月4日回~11日回に西河原公民館でも展示する。

平和フェスタ2023の入場は無料だが、会場で募金を行う。

問い合わせ ☎・FAX3480-7477、
Mmail@komae-heiwa-fes.clean.
toこまえ平和フェスタ実行委員会
西尾さん。



去年の灯ろうまつり

24日夜に灯ろうまつり 多摩川河川敷に数百基

多摩川灯ろうまつり（多摩川灯ろうまつり実行委員会主催、狛江市観光協会後援）が24日午後6時30分から多摩水道橋下流の多摩川で催される。

世界平和と環境保全を願い、河川敷を灯ろう数数百基が照らす。

灯ろうは1基1,000円で、申し込みを23日盂まで市内6カ所の寺院と泉の森会館で受け付けるほか、会場でも当日午後4時から6時まで受け付ける。雨天の場合は25日盂に順延。

問い合わせ ☎3489-8440 園住院内多摩川灯ろうまつり実行委員会事務局。

iSTUDIO

貸スタジオ・アイススタジオ
教室を開いてみませんか？
3ヶ月半額キャンペーン中！